

報道関係各位

2024年10月8日

**SUPER FORMULA を運営する日本レースプロモーション、
印刷・集客支援のプラットフォーム「ラクスル」とパートナー
シップを締結、サーキット内外でブランディングを強化！**

全日本スーパーフォーミュラ選手権(以下「SUPER FORMULA」)を開催する株式会社日本レースプロモーション(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上野 禎久、以下「JRP」)は、「印刷・集客支援のプラットフォーム」の運営を通じて様々なサービスを提供するラクスル株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長 グループ CEO：永見 世央、以下「RAKSUL」)とパートナーシップを締結し、サーキット内外での SUPER FORMULA のブランディングを強化していくことを発表いたしました。



<サーキットに掲出予定ののぼり旗（一部例）>

今回のパートナーシップでは、国内の印刷業界に IT の技術を持ち込んで産業構造を変革し、「早い・安い・ラク」な商業印刷ができる仕組みを構築してきた RAKSUL の印刷技術を活用し、サーキット内外で使用するのぼり旗やバナー等の広告物を制作、SUPER FORMULA ブランディングを強化していくことが目的です。

具体的には、10月12日(土)・13日(日)に開催される SUPER FORMULA Rd.6-7 富士大会、および11月9日(土)・10日(日)に開催される SUPER FORMULA Rd.8-9 鈴鹿大会において、サーキット内の広範囲にわたり、参戦ドライバー21名の写真入りのぼり旗を掲出いたします。



更に鈴鹿市との地域連携パートナーシップを通じ、SUPER FORMULA Rd.8-9 鈴鹿大会の開催機運の醸成に向けて、10月10日(木)から近鉄白子駅前のロータリーに全ドライバーのバナーサインを掲出し、鈴鹿サーキットに通じる鈴鹿市の玄関口として、全ての駅利用者をお迎えします。



<近鉄白子駅前に掲出予定のバナー（例）>

RAKSULは、今回のパートナーシップを通じて、多種多様な印刷物・グッズ類をスピーディーに制作できるという自社の強みを活かし、大会と親和性のあるのぼり旗やバナーサインを提供することでSUPER FORMULAのブランディングに貢献していくと同時に日本最高峰のモータースポーツという場を通じて、地域や社会貢献に繋がる活動をしてまいります。

JRPとしても、今回の取り組みを通じてサーキット内だけでなく様々な場所において、SUPER FORMULA自体の認知向上と、参戦するレーシングドライバーの魅力を伝えられるよう、努めてまいります。シーズン後半戦に突入した2024年のSUPER FORMULAに、引き続きご注目ください！

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-28-5 axle 御茶ノ水 3F-304

(株)日本レースプロモーション 広報事務局：上坂・上田

Email: media@superformula.net

〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目 24 番 9 号 アイケイビル 1 階

ラクスル株式会社 広報：福本・岡田・岩渕

TEL：03-6629-4892（広報） FAX：050-3606-0419 Mail：pr@raksul.com